

令和8年8月 岩手県教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和8年8月24日（月）午後1時30分

閉会 令和8年8月24日（月）午後2時30分

2 開催場所

県庁10階 教育委員室

3 教育長及び出席委員

佐藤 一 男 教育長

新妻 二 男 委員

宇部 容 子 委員

小野寺 明 美 委員

泉 悟 委員

山口 研 介 委員

4 説明等のため出席した職員

松村教育局長兼首席服務管理監、駒込教育次長兼学校教育室長

金森教育企画室長、大村学校教育企画監、菊地教職員課総括課長兼服務管理監、熊谷保健体育課総括課長、藤井生涯学習文化財課総括課長、菊池生徒指導課長

教育企画室：菅野主任主査、伊藤主事（記録）

5 会議の概要

第1 会期決定の件

本日一日と決定

第2 議案第22号 県立高等学校の学科の設置及び廃止に関し議決を求めることについて（学校教育室） 別添議案により説明

原案どおり決定

第3 議案第23号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて（教育企画室） 別添議案により説明

宇部委員：議案については異存ありません。

先日、岩手県民の幸福度が過去最高というような報道もありました。教育委員会の施策については、学校現場の実態に即してよりよい状況に向けて改善を図っていただいていることに感謝しております。特に知育、徳育、体育と安全な教育環境については、これからの施策についても、バランスをとりながら維持、または向上していくように進めていただければいいと感じておりますので、よろしくお願いいたします。

小野寺委員：各項目の最後に県民意識調査の結果が記載されていますが、やはり求めるもの、県民の意識がこれに表れていると思うので、ここは意識して色々な施策を考えていただくのがいいと思います。

いじめや不登校の問題については、やはり重要な課題であるし、対策に力を入れるべきだと誰もが捉えているけれども、なかなかいじめは無くならないし、不登校は増えるばかりというのが、満足度の順位に表れていると思います。結果にすぐ結びつくものではないと思いますが、ずっと力を入れていかなければならない項目だということは県民も意識していると思うので、ここはきちんと力を入れて、これからも進んでいくべきだろうと思っています。

新妻委員：2点ほど、今後の課題に関わるということでお話をしたいと思います。

1点目は、「学校が楽しい（学校に満足している）児童生徒の割合」が、小学生はD評価になっているということですけれども、本来であれば、小学校が一番高くて中高が下がる傾向に統計上はあるんですよ。ただ今回見ると、学年が上がるに従って満足度が高いという傾向

があって、上がること自体は大変望ましいことなのですが、岩手は逆転しているんですね。となると、小学生の段階で何か問題等があるようになっていくということなのか、あるいは、逆に言えば、高校段階でこれほど高い数値が出ている要因がある程度判別できるとすれば、それを小学校や中学校の段階で生かす方法はないのか、そういったあたりを考えていただければいいと思います。年齢が上がるにつれて満足度が高くなるというのは、決してマイナスなことではありませんので、より深く掘り下げてみてはいいかなというのが1点です。

2点目は、自分の住む地域が好きだと思っているかどうかの割合なんですけれども、やはり地域の良さや面白さを実感できる機会が減っていることも大きい要因だとは思いますが、実は、大人がどう思っているかの相関が圧倒的に高いと言われているのがこの数字なんです。子供たちが地域の良さを認識するということを前提に、一緒に活動している大人がどのような考え方をしているのか、意識をしているのかということも大きいと思いますので、子供の意識だけを変えろということではなくて、大人と子どもをセットで変えていくような方向性で考えていただければいいと思っています。

菊池生徒指導課長：学校が楽しいと思う児童生徒の状況ですが、委員から御指摘あったように、小学校で低い状況が続いています。ただ、同一集団を見ていくと、年齢が上がるにつれて満足度が高くなっていくという状況です。やはり、高校の数値が高い要因の分析と、それを小中に生かすということは、早い段階で学校が好きだという気持ちを醸成していく上で重要だと思いますので、そのあたりを確認していきながら、居場所づくりや児童の主体性を重視した学校を楽しみと思えるような取組を進めていきたいと考えています。

大村学校教育企画監：後半の自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒ということですが、まず大人がどういうふうに考えているか、これが非常に重要だということについては、我々もこれから政策考える上でしっかりと踏まえて取り組んでいきたいと思っています。

少し補足しますと、この項目の実績値が出ていますが、あくまでも積極肯定ということでして、これも引き続き伸ばしていきたいとは考えているのですが、「どちらかといえばそう思う」というところまで区切ると、すべての項目で90%を超えているという状況ですので、より一層好きになっていただけるように我々としても教育の分野から取り組んでいきたいと思っています。

新妻委員：今のことに関連してですが、地域差があるのかどうかも気になっています。例えば、沿岸被災地と内陸を比較してみると、地域差が出てくるものなのかとか。出てくるようなことがあれば、そういった地域差をどうすれば少しでも緩和できるのかということも併せて考えていく必要があると思います。つまり、全県的に平均的に見て、地域差がある程度顕在化しているならば、その地域差をどう捉えて、どう埋めるかということも、今後の課題となるという気もしますので、その辺も教えていただきたいと同時に、検討してもらえればと思います。

大村学校教育企画監：地域ごとの数値に関して、委員御指摘のとおり、地域によって差があった場合には、よく見ていく必要があると思いますので、十分に確認しながら、頑張っていきたいと思っています。

原案どおり決定

議案第24号以降については、非公開とする議決がなされた。

第4 議案第24号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて（服務管理監） 別添議案により説明

原案どおり決定

〔免職 わいせつな行為及びセクシュアルハラスメント行為 40歳代 男性 県立学校 教職員〕
〔戒告 管理監督責任 50歳代 男性 県立学校 校長〕

第5 議案第25号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求める
ことについて（服務管理監）
別添議案により説明

原案どおり決定

〔一般の退職手当等の全部を支給しないこと 40歳代 男性 県立学校 教職員〕

会議結果の公表は、教育長に一任することで議決された。